

シンポジウム『メディアとあゆむ気象情報 いま、そして、これから・・・  
～命を守る情報を手元に～』を12月5日(月)に開催します。

気象庁やメディアが発信する気象情報がどのような内容で、どのように伝えられるかを「知り」、どのように使えばよいかを「考える」きっかけとなるよう、シンポジウム『メディアとあゆむ気象情報 いま、そして、これから・・・～命を守る情報を手元に～』を本年12月5日(月)に開催します。

## 1. 開催概要

- (1) 日時：平成28年12月5日(月) 13時50分～16時00分(開場13時20分)
- (2) 場所：一橋大学一橋講堂(千代田区一ツ橋2-1-2)
- (3) 定員：500名(事前申込制・先着順・参加費無料)
- (4) 主催：気象庁、(一財)気象業務支援センター
- (5) 後援(予定)：内閣府(防災担当)、総務省消防庁、日本放送協会  
株式会社テレビ朝日、ヤフー株式会社、株式会社文化放送  
地球ウォッチャーズ -気象友の会-

## (6) 内容(予定・敬称略)：

### 講演

- 「気象庁の防災気象情報 ～新たなステージに向けて～」  
気象庁総務部参事官 弟子丸 卓也
  - 「災害を自分事として ～ニュース防災アプリがめざすもの～」  
日本放送協会報道局ネット報道部長 近堂 靖洋
  - 「命を守る情報をどう届けるか ～AbemaNewsの挑戦～」  
株式会社テレビ朝日報道局 AbemaNews 担当局長 小木 哲朗
  - 「ヤフーにおける防災情報伝達の取り組みと課題」  
ヤフー株式会社 Yahoo!天気・災害サービスマネージャー 田中 真司
- パネルディスカッション  
コーディネーター：株式会社文化放送防災キャスター 高橋 民夫  
パネリスト：東京国際大学副学長 小室 広佐子、女優 紺野 美沙子  
及び上記講演者4名  
司会：株式会社文化放送アナウンサー 鈴木 純子

## 2. 申し込み方法

参加を希望される方は、平成28年11月25日(金)までに、メールまたはFAXによる事前申し込みが必要です。詳細は別紙を参照ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

気象庁 総務部 広報室

03-3212-8341(内線2126)